

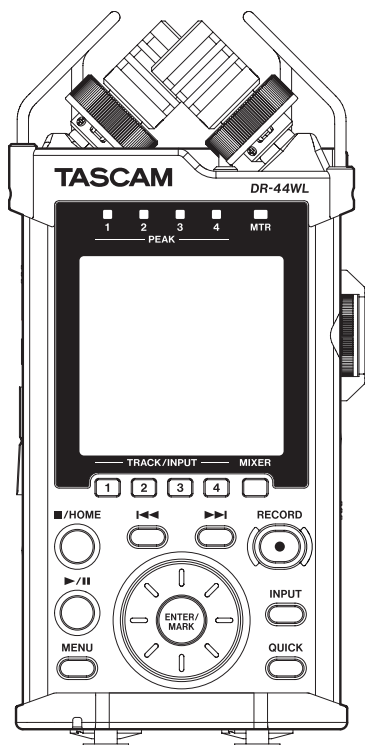
# TASCAM

D01318801A

# DR-44WL



















## Linear PCM Recorder

取扱説明書











## 安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

	<b>警告</b> 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	万一、異常が起きたら 煙が出たり、変なにおいや音がするときは 機器の内部に異物や水などが入ったときは この機器を落としたり、カバーを破損したときは すぐに機器本体の電源を切り、必ずACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）に修理をご依頼ください。
	ACアダプターのコードを傷つけない ACアダプターのコードの上に重い物をのせたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きしない ACアダプターのコードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。 万一、ACアダプターのコードが破損したら（芯線の露出、断線など）、販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）をご依頼ください。 別売のACアダプターや電源コードを他の機器に使用しない 故障、火災、感電の原因となります。
	交流100ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器の隙間などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしない 火災・感電の原因となります。
	航空機の離着陸時には使用しない 航空機の運航の安全に支障を及ぼす恐れがあるため、離着陸時の使用は航空法令により制限されていますので、離着陸時は本機の電源をお切りください。
	ACアダプターの電源プラグにほこりをためない ACアダプターの電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。定期的（年1回くらい）にACアダプターの電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。
	この機器のカバーは絶対に外さない カバーを外す、または改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご依頼ください。
	この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。
	<b>注意</b> 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
	移動させる場合は、電源をオフ（スタンバイ状態）にし、必ずACアダプターの電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す コードが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。
	旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ずACアダプターの電源プラグをコンセントから抜き、通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となることがあります。
	オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明にしたがって接続する また、接続は指定のコードを使用する 電源を入れる前には、音量を最小にする 突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。また、モニター機器などを破損する原因となることがあります。
	この機器はコンセントの近くに設置し、ACアダプターの電源プラグは簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐにACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。
	この機器には、付属の専用ACアダプターや電源コードを使用する それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。
	ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない 湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たる場所に置かない 火災・感電やけがの原因となることがあります。
	ACアダプターの電源プラグを抜くときは、ACアダプターの電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 必ずプラグを持って抜いてください。
	濡れた手でACアダプターの電源プラグを抜き差ししない 感電の原因となることがあります。
	5年に1度は、機器内部の掃除を販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご相談ください。 内部にほこりがたまったら、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については、ご相談ください。

## 電池の取り扱いについて

本機は、電池を使用しています。誤って使用すると、発熱、発火、液漏れなどを避けるため、以下の注意事項を必ず守ってください。

	<b>警告</b> 乾電池に関する警告
	乾電池は絶対に充電しない 破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となります。
	<b>警告</b> 電池に関する警告
	電池を入れるときは、極性表示（プラスとマイナスの向き）に注意し、電池ケースに表示されている通り正しく入れる 間違えると電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
	長時間使用しないときは電池を取り出しておく 液が漏れて火災・けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液が漏れた場合は、電池ケースに付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一漏れた液が身体に付いたときは、水でよく洗い流してください。
	指定以外の電池は使用しない 新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しない 破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損することがあります。 炎天下の車内や暖房器具のそばなど、温度が高くなるところで保管しない 本体の変形によるショートや発火、故障、電池の劣化の原因となります。
	<b>注意</b> 電池に関する注意
	金属製の小物類と一緒に携帯、保管しない ショートして液漏れや破裂などの原因となることがあります。
	分解しない 電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。
	保管や廃棄をする場合は、他の電池や金属の物と接触しないようにテープなどで端子を絶縁してください。
	使い終わった電池は、電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村の廃棄方法にしたがって捨ててください。

## 電波に関する注意

### 機器認定について

本製品には、電波法に基づく省電力データ通信システムの無線局として、工事設計認証を受けた無線設備を内蔵しています。

無線設備名：211-140505

次の事項を行った場合、法律で罰せられることがあります。

- 本製品を分解、または改造すること
- 本製品の認証ラベルをはがすこと

### Wi-Fi機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・化学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止してください。
- その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、タスカム カスタマーサポートまでお問い合わせください。

本機は、2.4GHz帯を使用する無線機器です。変調方式としてDSSS/OFDM変調方式を採用し、干渉距離は40m以下です。

## 目次

はじめに	3
リファレンスマニュアルについて	3
本製品の構成	3
商標および著作権に関して	4
設置上の注意	4
結露について	4
製品のお手入れ	4
ユーザー登録について	4
アフターサービス	4
各部の名称	5
トップパネル	5
フロントパネル	5
左サイドパネル	5
右サイドパネル	5
ボトムパネル	5
ホーム画面	6
電源の準備	7
電源をオンにする	7
言語を選択する	7
内蔵時計の設定	7
電源をオフにする	7
モニター用機器を接続する	8
基本的なメニューの操作方法	8
メニューの構成	8
録音	8
録音画面	8
入力レベルを調節する	9
ローカットフィルターを設定する	9
レベルコントロール機能を使う	9
録音する	9
録音待機状態について	9
録音メニューの構成	9
再生	10
再生する	10
再生するファイルを選択する (スキップ)	10
再生の音量を調節する	10
パソコンと接続する	10
パソコンとUSB接続する	10
パソコンへファイルを取り出す、パソコンからファイルを取り込む	10
パソコンとの接続を解除する	10
各種設定および情報表示	10
内蔵スピーカーをオフにする	10
環境設定 (システム設定)	10
本体とスマートフォンをWi-Fiで接続する	10
専用アプリケーション (DR CONTROL) の入手・インストール方法	10
Wi-Fiモードの選択	10
本機と外部機器 (スマートフォン/タブレット/パソコン) を直接Wi-Fi接続する (直接接続モード)	11
本機とスマートフォン・タブレット端末をWi-Fi接続する場合 (2回目以降)	12
本機と外部機器 (スマートフォン/タブレット/パソコン) をルーターを経由してWi-Fi接続する (ルーター経由モード)	12
スマートフォンからの本機のリモート操作	13
本機からパソコンへのファイル転送	13
こんなことをするには	14
メッセージ	15
トラブルシューティング	16
仕様	17
定格	17
入出力	17
オーディオ性能	17
録音時間	17
Wi-Fi	17
一般	17

## はじめに

このたびは、TASCAM DR-44WLをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しい取り扱い方法をご理解いただいた上で、未永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。お読みになったあとは、いつでも見られるところに保管してください。

また取扱説明書は、TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) からダウンロードすることができます。

本製品はアナログ・デバイス社製16/32ビット Blackfin®組み込みプロセッサを搭載し製品のデジタル信号処理と制御を行っています。このBlackfin®プロセッサを搭載することにより製品の高性能化・省電力化を実現しています。

## リファレンスマニュアルについて

取扱説明書 (本書) では、本機の各機能について解説しています。各機能の詳細については、リファレンスマニュアルをご覧ください。

リファレンスマニュアルは、TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) からダウンロードすることができます。

## 本製品の構成

本製品の構成は、以下の通りです。

梱装箱と梱包材は、後日輸送するときのために保管しておいてください。付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合は、タスカムカスタマーサポート (巻末に記載) までご連絡ください。

- 本体 ..... x1
- ACアダプター (GPE053B) ..... x1
- アダプター付きmicroSDメモリーカード (本体差し込み済) ..... x1
- USBケーブル ..... x1
- 単3形アルカリ乾電池 ..... x4
- ウィンドスクリーン ..... x1
- グリップ ..... x1
- シューマウントアダプター ..... x1
- ソフトケース ..... x1
- 取扱説明書 (本書、保証書付き) ..... x1

### 注意

本機には必ず、付属の専用ACアダプター (GPE053B) をご使用ください。また、付属のACアダプターを他の機器に使用しないでください。故障、火災、感電の原因となります。

### メモ

付属の専用ACアダプター (GPE053B) には、交換用のコンセントプラグが付属しています。交換方法については、7ページ「コンセントプラグの交換方法」をご参照ください。

## 商標および著作権に関して

- TASCAMおよびタスカムは、ティアック株式会社の登録商標です。
- SDXCロゴは、SD-3C, LLCの商標です。



- MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.
- Supply of this product does not convey a license nor imply any right to distribute MPEG Layer-3 compliant content created with this product in revenue-generating broadcast systems (terrestrial, satellite, cable and/or other distribution channels), streaming applications (via Internet, intranets and/or other networks), other content distribution systems (pay-audio or audio-on-demand applications and the like) or on physical media (compact discs, digital versatile discs, semiconductor chips, hard drives, memory cards and the like). An independent license for such use is required. For details, please visit <http://mp3licensing.com>.
- Wi-Fiは、Wi-Fi Allianceの商標です。
- Wi-Fi CERTIFIED ロゴはWi-Fi Allianceの認定マークです。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac は、米国および他の国々で登録されたApple Inc. の商標です。
- IOSは、米国およびその他の国におけるCisco社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- App Store は Apple Inc. のサービスマークです。
- AndroidおよびGoogle Playは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- Blackfin® and the Blackfin logo are registered trademarks of Analog Devices, Inc.
- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

ここに記載されております製品に関する情報、諸データは、あくまで一例を示すものであり、これらに關します第三者の知的財産権、およびその他の権利に対して、権利侵害がないことの保証を示すものではございません。従いまして、上記第三者の知的財産権の侵害の責任、またはこれらの製品の使用により発生する責任につきましては、弊社はその責を負いかねますのでご了承ください。

第三者の著作物は、個人として楽しむなどのほかに、著作権法上権利者に無断で使用できません。装置の適正使用をお願いします。弊社では、お客様による権利侵害行為につき一切の責任を負担致しません。

## 設置上の注意

- 動作保証温度は、摂氏0度～40度です。
- 次のような場所に設置しないでください。音質劣化の原因、または故障の原因となります。
  - 振動の多い場所
  - 窓際などの直射日光が当たる場所
  - 暖房器具のそばなど極端に温度が高い場所
  - 極端に温度が低い場所
  - 湿気が多い場所や風通しが悪い場所
  - ほこりの多い場所
  - 直接雨などの水が当たる場所
- 本機の近くにパワーアンプなどの大型トランスを持つ機器がある場合にハム（うなり）が発生することがあります。この場合は、本機を遠ざけるか方向を変えてください。
- テレビやラジオの近くで本機を動作させるとテレビ画面に色むらが出る、またはラジオから雑音が出ることがあります。この場合は、本機を遠ざけて使用してください。
- 携帯電話などの無線機器を本機の近くで使用すると、着信時や発信時、通話時に本機から雑音が出ることがあります。この場合は、それらの機器を本機から遠ざけるか、もしくは電源を切ってください。
- パワーアンプなど熱を発生する機器の上に本機を置かないでください。

## 結露について

本機を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。結露したときは、約1～2時間放置してから電源を入れてお使いください。

## 製品のお手入れ

製品の汚れは、柔らかい乾いた布で拭いてください。化学ぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。表面を傷める、または色落ちさせる原因となります。

## ユーザー登録について

TASCAMのウェブサイトにて、オンラインでのユーザー登録をお願いいたします。

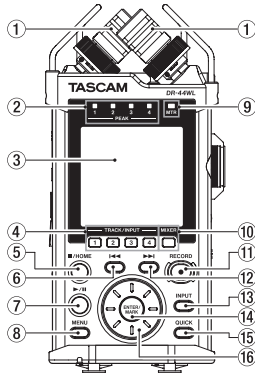
<https://tascam.jp/jp/login>

## アフターサービス

- この製品には、保証書が添付（巻末に記載）されています。大切に保管してください。万が一販売店印の捺印やご購入日の記載が無い場合は、無料修理保証の対象外になりますので、ご購入時のレシートなどご購入店・ご購入日が確認できるものを一緒に保管してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年です。保証期間中は、保証書に記載の無料修理規定によりティアック修理センター（巻末に記載）が修理いたします。
- 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理については、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- 万一、故障が発生した場合は使用を中止し、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）までご連絡ください。修理を依頼される場合は、次の内容をお知らせください。
  - 本機の故障、もしくは不具合により発生した付随的損害（録音内容などの補償）の責については、ご容赦ください。
  - 本機を使ったシステム内の記録メディアなどの記録内容を消失した場合の修復に関しては、補償を含めて当社は責任を負いかねます。
- 型名、型番（DR-44WL）
- 製造番号（Serial No.）
- 故障の症状（できるだけ詳しく）
- お買い上げ年月日
- お買い上げ販売店
- お問い合わせ先については、巻末をご参照ください。
- 当社は、この製品の補修用性能部分（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保有しています。
- 本機を廃棄する場合に必要な収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

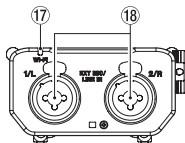
## 各部の名称

### トップパネル



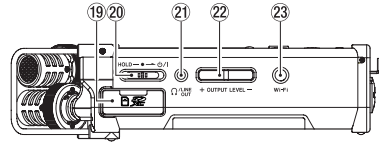
- ① 内蔵ステレオマイク
- ② PEAKインジケーター
- ③ ディスプレー
- ④ TRACK/INPUTボタン
- ⑤ ■/HOMEボタン
- ⑥ ◀◀ボタン
- ⑦ ▶▶ボタン
- ⑧ MENUボタン
- ⑨ MTRインジケーター
- ⑩ MIXERボタン
- ⑪ RECORD [●] ボタン / RECORDインジケーター
- ⑫ ▶▶▶▶ボタン
- ⑬ INPUTボタン
- ⑭ ENTER/MARKボタン
- ⑮ QUICKボタン
- ⑯ ホイール

### フロントパネル



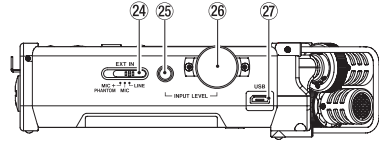
- ⑰ Wi-Fiインジケーター
- ⑱ EXT MIC/LINE IN 1/L / 2/R端子 (XLR / TRS)

### 左サイドパネル



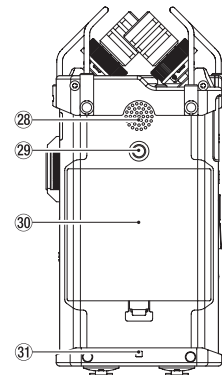
- ⑲ SDカードスロット
- ⑳ HOLD / 冫/I スイッチ
- ㉑ Ω /LINE OUT端子
- ㉒ OUTPUT LEVELボタン
- ㉓ Wi-Fiボタン

### 右サイドパネル



- ㉔ EXT INスイッチ
- ㉕ INPUT LEVELボタン
- ㉖ INPUT LEVELボリューム
- ㉗ USB端子

### ボトムパネル



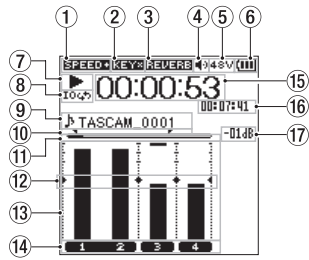
- ㉘ 内蔵モノラルスピーカー
- ㉙ 三脚取り付け用穴 (1 / 4インチ)
- ㉚ 電池ケース蓋
- ㉛ ストラップホルダー
- ㉜ 電池ケース



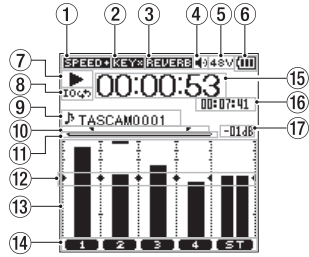


## ホーム画面

停止中に表示される最も標準的な画面です。



[4CHモード時のホーム画面]



[MTRモード時のホーム画面画面]

### ① 再生速度の状態表示

アイコン	再生速度
表示なし	再生スピード変更なし
<b>SPEED+</b>	1.1 ~ 2.0倍
<b>SPEED-</b>	0.5 ~ 0.9倍
<b>SPEED*</b>	再生スピードの変更ができないとき

### ② キーコントロール機能のオン/オフ状況表示

アイコン	オン/オフ状態
表示なし	キーコントロール機能オフ
<b>KEY</b>	キーコントロール機能オン
<b>KEY*</b>	キーコントロール機能オン (設定無効状態)

### ③ リバースのオン/オフ状況表示

アイコン	オン/オフ状態
表示なし	リバースオフ
<b>REVERB</b>	リバースオン (掛け録り状態)
<b>REVERB*</b>	リバースオン (SEND状態)

### ④ スピーカー出力表示

- 🔊 表示あり：スピーカー出力オン
- 🔊 表示なし：スピーカー出力オフ

### ⑤ ファントム電源表示

- 表示なし：ファントム電源供給なし
- 48V** : ファントム電源48V供給状態
- 24V** : ファントム電源24V供給状態

### ⑥ 電源供給の状態表示

電池供給時は、電池残量に応じて目盛りが表示されます ( 、、 )。

目盛り表示がなくなると が点滅し、電池切れのためにまもなく電源がオフ (スタンバイ状態) になります。

付属の専用ACアダプター (GPE053B) 使用時およびUSBバスパワー供給時は、 を表示します。

### ⑦ レコーダーの動作状態表示

レコーダーの動作状況をアイコン表示します。

表示	内容
	停止中
	一時停止中
	再生中
	早送り中
	早戻し中
	次のファイルの先頭にスキップ
	現在または手前のファイルの先頭にスキップ

### ⑧ ループ再生の設定状態表示

ループ再生中は、 アイコンを表示します。

### ⑨ ファイル名/ソング名表示

4CHモード時は、再生中のファイル名またはタグ情報を表示します。4CHモード時の複数ファイルの場合は、ファイル名の形式部分と録音ファイルの基本番号のみを表示します。単独ファイルの場合はファイル名を表示します。

MTRモード時は、オープンされているソング名を表示します。

### ⑩ ループ再生のIN点 (始点)、OUT点 (終点) の設定状況

ループ再生のIN点 (始点) / OUT点 (終点) の設定状況を表示します。IN点 (始点) を設定すると、再生位置表示バー上の該当位置に アイコンが表示されます。

OUT点 (終点) を設定すると、再生位置表示バー上の該当位置に アイコンが表示されます。

### ⑪ 再生位置表示

現在の再生位置をバー表示します。

### ⑫ レベルメーターガイド表示

入力/出力レベル調節の目安となるレベルメーターガイドです。目盛りの-12dBの位置に表示しています。

### ⑬ レベルメーター

入力音または再生音のレベルを表示します。

### ⑭ ファイル状態表示

再生されるファイルにより表記が変わります。

- : ステレオファイル状態
- : モノラルファイル x2状態
- : ファイルなし

### ⑮ 経過時間表示

現在のファイルの経過時間 (時:分:秒) を表示します。

### ⑯ 残量時間表示

現在のファイルの残量時間 (時:分:秒) を表示します。

### ⑰ ピーク値のデシベル (dB) 表示

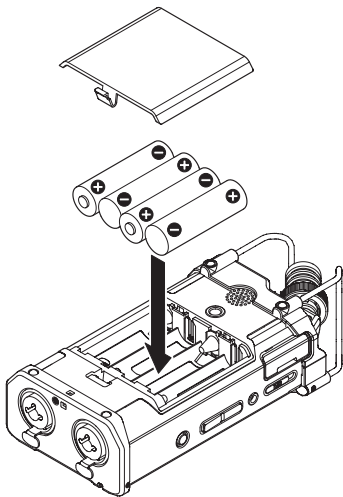
一定時間ごとに、その期間の再生レベルの最大値を、デシベル表示します。

## 準備

### 電源の準備

#### 単3形電池で使用する

1. ボトムパネルの電池ケース蓋を取り外します。
2. 電池ケース内の⊕と⊖の表示に合わせて、単3形電池を4本セットします。
3. 電池ケース蓋を取り付けます。

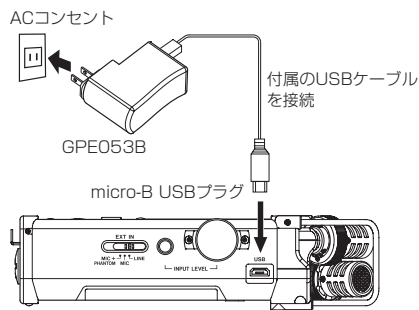


#### メモ

電池の残量表示や正常動作に必要な最低残量の識別を正しく行うために、**電源/画面設定**メニューの**電池タイプ**項目で、使用する電池の種類を設定してください（初期値：アルカリ乾電池）。

#### ACアダプターで使用する

図のように、付属の専用ACアダプター（GPE053B）と本機のUSB端子を付属のUSBケーブルで接続します。



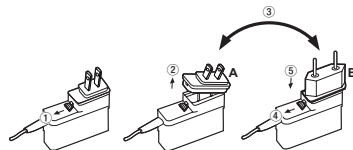
#### 注意

- 必ず付属の専用ACアダプター（GPE053B）をご使用ください。それ以外のものを使用すると故障、火災、感電の原因となります。
- 本体をACアダプターに近づけて使うと、マイク収録時にノイズが発生する場合があります。このようなときには、ACアダプターを本体から離してお使いください。

#### メモ

- 電池とACアダプターの両方をセットした場合は、ACアダプターから電源が供給されます。
- 付属する専用ACアダプターには、2種類のコンセントプラグが同梱されています。ご使用になる電源コンセントの形状に合ったコンセントプラグに取り替えてご使用ください。

### コンセントプラグの交換方法



- ① ACアダプターのノブを矢印方向に移動させます。
- ② コンセントプラグを引き抜きます。
- ③ 付属のAまたはBのコンセントプラグに交換します。
- ④ もう一度、ACアダプターのノブを矢印方向に移動させます。
- ⑤ ACアダプターにコンセントプラグを差し込みます。

交換完了後にコンセントプラグの浮きやガタつきがないか確認し、異常がなければ電源コンセントに接続してください。

#### 注意

交換後のコンセントプラグに異常がある場合は、使用を中止してください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）に修理をご依頼ください。

### 電源をオンにする

電源がオフ（スタンバイ状態）時に、左サイドパネルの**HOLD** / **⏻** スイッチを「**⏻**」方向にスライドし、**TASCAM DR-44WL**（起動画面）が表示されたら離します。本機が起動してホーム画面が表示されます。

### 言語を選択する

本機は、ディスプレイに表示される言語を切り換えることができます。お買い上げ後にはじめて電源をオンにしたとき、メニューやメッセージに使用する言語を設定する **LANGUAGE** 画面が表示されます。また、**システム設定** 画面の **言語** 項目で再設定することができます。

1. ホイールを回してカーソルを移動し、言語を選択します。
2. 選択が完了したら、**ENTER/MARK** ボタンを押して確定します。

### 間違った言語を選択してしまった場合

**HOLD** / **⏻** スイッチで電源をオフにしたあと、**MENU** ボタンを押しながら **HOLD** / **⏻** スイッチで電源をオンしてください。言語選択メニューが表示され、言語の選択が可能となります。

### 内蔵時計の設定

初回（またはしばらく電池を外しておいた後）の電源投入時には、起動画面が表示される前に、日時を設定する **日時設定** 画面が表示されます。



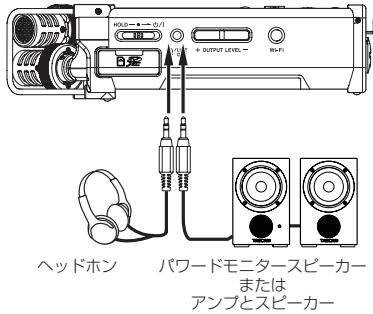
◀◀ / ▶▶ ボタンとホイールを使って日時を設定し、**ENTER/MARK** ボタンを押して確定します。

### 電源をオフにする

電源オン時に、左サイドパネルの**HOLD** / **⏻** スイッチを「**⏻**」方向にスライドし、「**TASCAM DR-44WL 電源をオフにしています**」と表示されたら離します。数秒後、電源がオフになります。

## モニター用機器を接続する

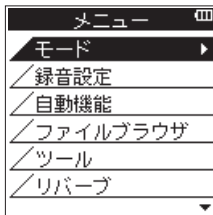
ヘッドホンで聴く場合は、Ω /LINE OUT端子にヘッドホンを接続してください。  
外部モニターシステム（パワーモニタースピーカーまたはアンプとスピーカー）で聴く場合は、Ω /LINE OUT端子に外部モニターシステムを接続してください。



ヘッドホン      パワーモニタースピーカー  
または  
アンプとスピーカー

## 基本的なメニューの操作方法

1. MENUボタンを押して、メニュー画面を表示します。



- ホイールを使ってメニュー項目を選択（反転表示）し、ENTER/MARKボタンを押すと各種設定画面に移動します。
- ホイールを使って設定する項目を選択（反転表示）します。
- ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押すと、設定内容にカーソルが移動（右に移動）します（反転表示）。
- ホイールを使って、設定を変更します。
- 同じメニュー内で別の項目を設定する場合は、ENTER/MARKボタンまたは◀◀ボタンを押します（左に移動）。
- 必要に応じて、3.～6.を繰り返し、各項目を設定します。
- 設定が終了したら、■/HOMEボタンを押して、ホーム画面に戻ってください。

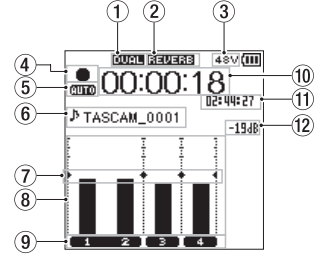
## メニューの構成

メニュー	説明
モード	録音／再生モード選択
録音設定	録音の設定
自動機能	録音ファイルに対する便利機能
ファイルブラウザ	SDカード内のファイル、フォルダーの操作
ソング	（MTRモード時のみ）
ツール	その他、便利機能の設定
リバース	リバースエフェクトの設定
電源/画面設定	電源とディスプレイの設定
システム設定	本体環境の設定

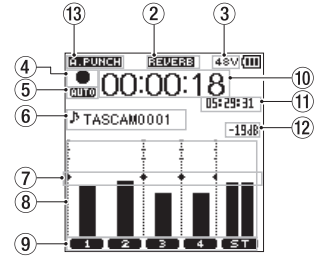
## 録音

### 録音画面

録音待機中または録音中は、以下の録音画面を表示します。



[4CHモード時の録音画面]



[MTRモード時の録音画面]

① デュアル録音機能のオン／オフ状況表示（4CHモードのみ）

表示なし：デュアル録音機能オフ

**DUAL**：デュアル録音機能オン

② リバースのオン／オフ状況表示

アイコン	オン／オフ状態
表示なし	リバースオフ
<b>REVERSE</b>	リバースオン（掛け録り状態）
<b>REVERSE</b>	リバースオン（SEND状態）

③ ファントム電源表示

表示なし：ファントム電源供給なし

**48V**：ファントム電源48V供給状態

**24V**：ファントム電源24V供給状態

④ レコーダー動作状態表示

レコーダーの動作状況をアイコン表示します。

表示	内容
●	録音待機中または録音一時停止中
●	録音中

⑤ ブリレック機能またはオートレック機能の設定状態表示（4CHモードのみ）

ブリレック機能が「入」の場合は、**PRE** アイコンが表示されます。

オートレック機能が「入」の場合は、**AUTO** アイコンが表示されます。

⑥ ファイル名／ソング名表示

録音するファイルに自動的に付けられるファイル名を表示します。

4CHモード時の複数ファイルの場合は、ファイル名の形式部分と録音ファイルの基本番号のみを表示します。単独ファイルの場合はファイル名を表示します。

MTRモード時は、オープンされているソング名を表示します。

⑦ レベルメーターガイド表示

入力／出力レベル調節の目安となるレベルメーターガイドです。

目盛りの-12dBの位置に表示しています。

⑧ レベルメーター

入力音または再生音のレベルを表示します。

⑨ ファイル状態表示

録音されるファイルにより表記が変わります。

**1 2**：ステレオファイル状態

**1 2**：モノラルファイル x2状態



## ⑩ 録音経過時間

録音ファイルの経過時間（時：分：秒）を表示します。

## ⑪ 録音残時間

設定した最大ファイルサイズに対する残時間（時：分：秒）を表示します。ただし、SDカードの残り時間の方が少ない場合はそちらを表示します。

## ⑫ ピーク値のデシベル（dB）表示

入力レベルのピーク値をデシベル表示します。

## ⑬ オートパンチイン／アウト機能のオン／オフ状況表示およびマスタートラックロード状況表示（MTRモードのみ）

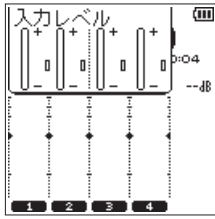
表示なし：オートパンチイン／アウト機能オフ

**A.PUNCH**：オートパンチイン／アウト機能オン

**MASTER**：マスタートラックがロードされているときに表示

## 入力レベルを調節する

1. 右サイドパネルのINPUT LEVELボタンを押して、ディスプレイに入力レベル設定画面をポップアップ表示させます。



2. TRACK/INPUTボタンを押して、入力レベルを調節するチャンネルを選択します。
3. 右サイドパネルのINPUT LEVELボリュームを使って、入力レベルを調節します。  
入力音が大きすぎる場合は、トップパネルのPEAKインジケータが赤く点灯します。  
レベルメーターには、-12dBの位置に▶◀の目印が付いています。この目印を中心にレベルが変化し、かつPEAKインジケータが赤く点灯しないように入力レベルを設定してください。
4. 設定が終了したら、■/HOMEボタンを押して、ホーム画面に戻ってください。

## ローカットフィルターを設定する

低域の雑音などをカットしたい場合は、ローカットフィルターを設定します。空調ノイズや耳障りな風切音などを低減することができます。

1. INPUTボタンを押して、ディスプレイに入力設定設定画面を表示します



2. TRACK/INPUTボタンを押して、ローカットフィルターを設定するチャンネルを選択します。
3. ホイールを使ってローカットを選択（反転表示）し、ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押すと、設定項目をポップアップ表示します。
4. ホイールを使ってマイク入力時のローカットフィルターのカットオフ周波数を設定します。  
設定値：切、40Hz、80Hz、120Hz、220Hz
5. ENTER/MARKボタンまたは◀◀ボタンを押すと、ポップアップ表示が消えて機能が有効になります。

数字（周波数）が大きくなるほど、広い帯域の低音をカットできます。

## レベルコントロール機能を使う

マイク入力時の録音レベルコントロール機能を設定します。

1. INPUTボタンを押して、ディスプレイに入力設定設定画面を表示します
2. TRACK/INPUTボタンを押して、レベルコントロール機能を設定するチャンネルを選択します。
3. ホイールを使ってレベル制御を選択（反転表示）し、ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押して設定項目をポップアップ表示します。
4. ホイールを使って任意の機能を選択（反転表示）し、ENTER/MARKボタンまたは◀◀ボタンを押すと、ポップアップ表示が消えて機能が有効になります。

## ピーク

入力音が大きすぎたときに、録音レベルを適度なレベルまで自動で下げる機能です。録音レベルを上げたいときは、手動で行います。音量が上下すると聴きにくい、音楽録音に適しています。設定後にオフにしても、設定したレベルは保持されます。

## リミッター

突発的な過大入力による歪みを防ぐ機能です。録音レベルを変化させたくない場合に適しています。  
このモードでは、録音中でも手動で録音レベルを変更することができます。

## 録音する

本機は、4CHモードとMTRモードの2種類のモードでの録音ができます。4CHモードは、内蔵マイクと外部入力端子から最大4トラックの同時録音が可能です。  
MTRモードは、最大4トラックの録音にくわえ、すでに録音されたファイルに対して重ねて録音することが可能です。

1. RECORD [●] ボタンを押して、録音待機状態にします。  
ディスプレイに録音ファイル名が表示されますので、録音を開始する前に確認することができます。
2. TRACK/INPUTボタンを押して、録音するチャンネルを選択します。
3. RECORD [●] ボタンを押します。  
通常の録音が始まります。
4. 録音を終了するには、■/HOMEボタンを押します。  
録音を一時停止するには、RECORD [●] ボタンを押します。再度RECORD [●] ボタンを押す、または▶/||ボタンを押すと、同じファイルに続きが録音されます。  
一時停止後に■/HOMEボタンを押すと、一時停止までを録音したオーディオファイルが作成されます。

## 録音待機状態について

本機は業務用録音機と同じように、録音待機状態があります。この状態で入力レベル設定などを行い、その後録音動作に移るようになっていきます。  
録音待機状態では、RECインジケータが点滅し、録音画面が表示されます。

## 録音メニューの構成

メニュー画面の録音設定項目でさまざまな設定が行えます。

### 録音設定

録音形式	ファイル形式の設定 BWF:16/24bit WAV:16/24bit, MP3:32k ~ 320kbps
サンプル	サンプリング周波数の設定 44.1kHz, 48kHz, 96kHz (96kHzはBWF/WAVのみ)
プリレック	プリレックの設定 切、入
セルフタイマー	セルフタイマーの設定 切、5秒、10秒
デュアル	デュアル録音機能の設定 モード、デュアル
HSマイク	MSマイク機能の設定 HSデコード、対象

## 再生

### 再生する

ホーム画面で停止中に▶/■ボタンを押すと、再生を始めます。

### 一時停止する

ホーム画面で再生中に▶/■ボタンを押すと、その位置で再生を停止します。

### 停止する

ホーム画面で再生中に■/HOMEボタンを押すと一時停止状態となります。

再度、■/HOMEボタンを押すとファイルの先頭で停止状態となります。

### 早戻し/早送りをする（サーチ）

ホーム画面で再生中に◀◀ボタン/▶▶ボタンを押し続けると、早戻し/早送りサーチ再生を行います。

### 再生位置を移動する

ホーム画面で停止中または一時停止中にホイールを回して、再生位置を移動することができます。

再生位置を移動後は、一時停止状態になります。

### 再生するファイルを選択する（スキップ）

ホーム画面で、◀◀ボタン/▶▶ボタンを押して再生したいファイルを選択します。

ファイルの先頭で◀◀ボタンを押すと1つ前のファイルの先頭にスキップします。

ファイルの先頭または途中で▶▶ボタンを押すと、次のファイルへスキップします。

### 再生の音量を調節する

Ω / LONE OUT端子から出力される音量を、ホーム画面表示中にOUTPUT LEVEL (+ / -) ボタンを使って調節します。

## パソコンと接続する

本機のSDカードの中の音声ファイルをパソコンに取り出したり、パソコンの中の音声ファイルを本機に取り込んだりすることができます。

### パソコンとUSB接続する

1. 本機をパソコンと付属のUSBケーブルで接続します。電源がオフの場合は、オンにしてください。
2. USBモード 画面で、PC接続 を選択しENTER/MARKボタンを押すと本機がパソコンに接続され、USB 接続中 が表示されます。
3. 《コンピュータ》を開くと、パソコンのディスプレイ上に本機が《DR-44WL》というボリュームラベルの外部ドライブとして表示されます。

### パソコンへファイルを取り出す、パソコンからファイルを取り込む

パソコンのディスプレイ上の《DR-44WL》ドライブをクリックすると、《MTR》フォルダーと《MUSIC》フォルダー、および《UTILITY》フォルダーが表示されます。

パソコンへファイルを取り出す場合は、《MTR》フォルダーまたは《MUSIC》フォルダーを開き、パソコンに取り出したいファイルを任意の場所にドラッグ&ドロップします。

パソコンからファイルを取り込む場合は、パソコンの任意の音声ファイルを《MUSIC》フォルダーにドラッグ&ドロップします。

### パソコンとの接続を解除する

パソコンから本機を正しい手順で切り離してから、USBケーブルを外します。

シャットダウン処理が実行されたあとに、電源がオフになります。

パソコン側での接続解除方法については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

## 各種設定および情報表示

### 内蔵スピーカーをオフにする

メニュー → ツール → スピーカー 項目を「切」に設定します。

### 環境設定（システム設定）

本機を快適に使うためのさまざまな設定、初期化やSDカードのフォーマットなどを行います。

1. メニュー → システム設定 メニュー項目を選択し、ENTER/MARKボタンを押します。
2. 各機能の項目で、必要な設定を行います。

## 本体とスマートフォンをWi-Fiで接続する

### 注意

本製品は、販売地域での法令および規制に準拠するように設計されており、必要に応じた表示がされています。本製品は、以下の国/地域での使用が承認されています。

アメリカ合衆国、カナダ、欧州（EU加盟国）、オーストラリア、ニュージーランド、日本

上記以外の国々において無線機能を使用した場合、一部の国ではその国の電波法に違反となる恐れがあります。

上記以外の国々においての使用については、当社は一切の責任を負いかねます。

無料の専用アプリケーション（DR CONTROL）を使って、本体を遠隔操作することができます。

再生、停止などのトランスポートコントロールだけでなく、入力レベルの調整や録音したファイルの転送などもWi-Fi経由で行うことができます。

### 専用アプリケーション（DR CONTROL）の入手・インストール方法

1. スマートフォンをインターネットに接続してください。
2. Android端末の場合はGoogle Playから、iOS端末の場合はApp Storeから専用アプリケーション（DR CONTROL）を検索し、ダウンロードおよびインストールを実施してください。

### Wi-Fiモードの選択

使用環境に合わせて、2つの接続方式が選択可能です。

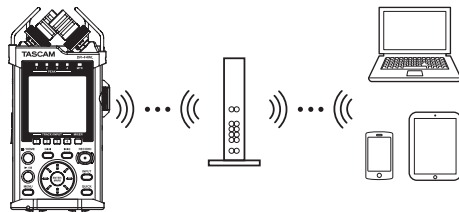
#### 直接接続モード

本機がアクセスポイントとして働き、パソコンやスマートフォンなどの外部機器と本機をWi-Fi接続することが可能です。



#### ルーター経由モード

既存のWi-Fiルーターを介してパソコンやスマートフォンなどの外部機器とWi-Fi接続することにより、より自由度の高い設置が可能です。また、インターネットとの同時接続が可能になり、ファイルの共有、位置情報の確認等がより快適に行えます。



## 本機と外部機器（スマートフォン／タブレット／パソコン）を直接Wi-Fi接続する（直接接続モード）

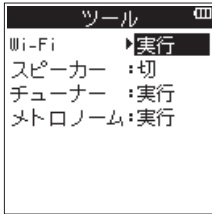
本機とスマートフォン・タブレット端末の1対1での接続となりますので、ルーターなどの外部機器、およびWi-Fiネットワーク環境は必要ありません。

### メモ

直接接続モードでのWi-Fi接続中は、スマートフォン・タブレット端末を外部のWi-Fiネットワークに接続することはできません。

### Wi-Fiモードを直接接続に設定する

1. MENUボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. ホイールを使って ツール メニュー項目を選択（反転表示）し、ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押します。  
ツール画面が表示されます。
3. ホイールを使って Wi-Fi 項目を選択（反転表示）し、ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押します。  
Wi-Fi 項目の「実行」が反転表示になります。



4. ENTER/MARKボタンを押して、Wi-Fi画面を表示します。
5. ホイールを使って モード 項目を選択（反転表示）し、ENTER/MARKボタンを押します。
6. ホイールを使って、Wi-Fiモードを「直接接続」に設定し、ENTER/MARKボタンを押して設定を確認します。

選択肢：直接接続（初期値）、

ルーター経由



### 本機とスマートフォン・タブレット端末をはじめてWi-Fi接続する

1. 本機のWi-Fiボタンを押して、Wi-Fiインジケータを点滅させます。ディスプレイに新規接続であるかどうかを問うポップアップメッセージ「新規接続ですか?」が表示されます。
2. はじめての接続なので、ENTER/MARKボタンを押します。

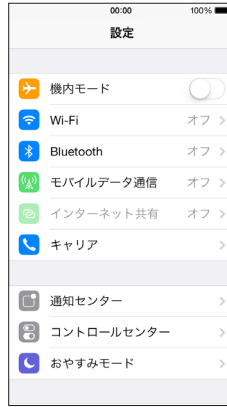


3. ディスプレーに「SSID」と「パスワード」が表示されます。

### メモ

「SSID」とは、無線LANにおけるアクセスポイント（無線LAN機器）の名称です。

4. 端末の《設定》→《Wi-Fi》を選択します。



[ iOS 端末の表示例 ] [ Android 端末の表示例 ]

5. 端末のWi-FiをオンにするとWi-Fi機器のSSID一覧が表示されますので、本機のディスプレイに表示されているSSIDを選択してください。



[ iOS 端末の表示例 ] [ Android 端末の表示例 ]

6. 端末にパスワード入力画面が表示されますので、本機のディスプレイに表示されているパスワードを入力します。
7. 本機とスマートフォンとのWi-Fi接続が確立され、本機のWi-Fiインジケータが点灯になります。

### メモ

上記の端末の操作説明は、スマートフォンの設定例です。詳しくは、お使いのスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

## 本機とスマートフォン・タブレット端末をWi-Fi接続する場合（2回目以降）

一度接続を行った本機とスマートフォンにおいては、2回目以降はSSIDを選択するだけで接続することができます。

1. 本機のWi-Fiボタンを押して、Wi-Fiインジケータを点滅させます。ディスプレイに新規接続であるかどうかを問うポップアップメッセージ「新規接続ですか?」が表示されます。
2. 一度接続を行ったスマートフォンと接続をするので、■/HOMEボタンを押します。



3. ディスプレーのポップアップメッセージが消え、スマートフォンとの接続待ち状態になります。
4. 端末の《設定》→《Wi-Fi》を選択します。
5. 端末のWi-FiをオンにするとWi-Fi機器のSSID一覧が表示されますので、本機のディスプレイに表示されているSSIDを選択してください。
6. 本機とスマートフォンとのWi-Fi接続が確立され、本機のWi-Fiインジケータが点灯になります。

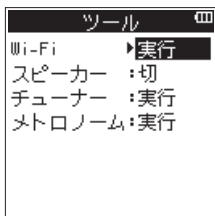
### メモ

上記の端末の操作説明は、スマートフォンの設定例です。詳しくは、お使いのスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

## 本機と外部機器（スマートフォン／タブレット／パソコン）をルーターを経由してWi-Fi接続する（ルーター経由モード）

### Wi-Fiモードをルーター経由に設定する

1. MENUボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. ホイールを使って ツール メニュー項目を選択（反転表示）し、ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押します。ツール画面が表示されます。
3. ホイールを使って Wi-Fi 項目を選択（反転表示）し、ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押します。Wi-Fi 項目の「実行」が反転表示になります。



4. ENTER/MARKボタンを押して、Wi-Fi画面を表示します。
5. ホイールを使って モード 項目を選択（反転表示）し、ENTER/MARKボタンを押します。
6. ホイールを使ってWi-Fiモードを「ルーター経由」に設定し、ENTER/MARKボタンを押して設定を確定します。

選択肢：直接接続（初期値）、

ルーター経由



## 本機と外部ルーターを接続する

1. Wi-Fi画面を表示中にホイールを使って リスト 項目を選択し、ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押します。リスト項目の「実行」が反転表示になります。



2. ENTER/MARKボタンを押して、SSIDリスト画面を表示します。



3. SSIDリスト画面に表示されたリストから、接続したいルーターをホイールを使って選択（反転表示）し、ENTER/MARKボタンを押して設定します。



4. SSID項目に選択されたSSIDが表示されます。

### メモ

SSIDは、Wi-Fi画面のSSID項目で直接入力することも可能です。その際は、SSID項目で◀◀ボタンまたは▶▶ボタンでカーソルを移動し、ホイールを使って文字を設定します。

ENTER/MARKボタンを押して、SSIDを確定します。

5. Wi-Fi画面を表示中にホイールを使ってパスワード項目を選択（反転表示）し、ENTER/MARKボタンまたは▶▶ボタンを押します。
6. パスワード項目で◀◀ボタンまたは▶▶ボタンでカーソルを移動し、ホイールを使ってルーターのパスワード（暗号キー）を入力します。ENTER/MARKボタンを押して、ルーターのパスワード（暗号キー）を確定します。

- 以下のメッセージが表示されたら、ルーターとの接続成功です。本体のWi-Fiインジケーターが点灯します。



- 以下のメッセージが表示されたら、ルーターとの接続失敗です。正しいパスワードを入力してください。



### メモ

- 外部ルーターのパスワード（暗号キー）は多くの場合、ルーター本体のラベルや取扱説明書などに記載してあります。
- 接続に成功したルーターに関しては、2回目以降は本体のWi-Fiボタンを押すだけで、再接続が可能です。また、最後に接続した2件までのパスワードは本体に記憶されます。

## スマートフォンなどと外部ルーターを接続する

1. 端末の《設定》→《Wi-Fi》を選択します。



[ iOS 端末の表示例 ]

[ Android 端末の表示例 ]

2. 端末のWi-FiをオンにするとWi-Fi機器のSSID一覧が表示されますので、使用する外部ルーターのSSIDを選択してください。



[ iOS 端末の表示例 ]

[ Android 端末の表示例 ]

3. 使用する外部ルーターのパスワードを入力します。スマートフォンと外部ルーターのWi-Fi接続が確立されます。

## スマートフォンからの本機のリモート操作

専用アプリケーション（DR CONTROL）は、本機と同じ表示画面となっており、ほぼ同じ操作で遠隔操作が可能です。本機の操作方法をご確認の上「DR CONTROL」アプリケーションをお使いいただくと、スムーズに操作することができます。

1. Wi-Fi接続が完了したら、スマートフォンなどにインストール済のDR CONTROLを起動してください。

### メモ

DR CONTROLは、常に最新のバージョンをご使用ください。

2. アプリケーションを起動させると以下のような画面が表示され、本機のリモート操作を行うことができます。



[ iOS 端末の表示例 ]

[ Android 端末の表示例 ]

《DR CONTROL》アプリケーションの詳細な説明は、TASCAMのウェブサイト（<https://tascam.jp/jp/>）からダウンロードすることができる「DR CONTROL リファレンスマニュアル取扱説明書」をご参照ください。

## 本機からパソコンへのファイル転送

無料の専用ソフトウェア（TASCAM DR FILE TRANSFER）を使用するとパソコンへのファイル転送が可能です。専用ソフトウェアの詳細な説明は、TASCAMのウェブサイト（<https://tascam.jp/jp/>）からダウンロードすることができる「TASCAM DR FILE TRANSFER 取扱説明書」をご参照ください。



## こんなことをするには

- ボタン名称は、MENUのように表記します。
- 「ホーム画面からMENUボタンを押して、録音設定メニューを選択しプリレック項目を選択する」という操作を「ホーム画面 → MENU → 録音設定 → プリレック」のように表記します。
- 複雑な操作の場合は、全部の操作は表記されていません。詳細の操作方法は、リファレンスマニュアルを参照してください。

分類	こんなことをしたい	機能名称	操作方法、使用するボタン/説明
基本操作	ホーム画面に戻る		■/HOME 操作に迷ったらホーム画面に戻ってください。
	録音する		ホーム画面 → RECORD → RECORD 設定した内容での録音を行います。
	再生する		ホーム画面 → ▶/II 表示(選択)されているファイルを再生します。
	再生音量を調節する		OUTPUT LEVEL (+/-) ボタン ヘッドホン、スピーカーなどの音量を調節します。
	再生するファイルを選択する		ホーム画面 → ◀◀ / ▶▶ ファイル数が多い場合は、ブラウズ機能を使うと便利です。
録音	ファイルフォーマットを変更する		ホーム画面 → MENU → 録音設定 → 録音形式 BWF形式またはWAV形式など、録音するファイル形式を指定します。
	ローカットフィルターを設定する	ローカットフィルター機能	ホーム画面 → INPUT → 入力設定 → ローカット 低音のノイズなどを排除する機能です。周波数を選択してください。
	入力レベルを手動で調節する		ホーム画面 → INPUT LEVEL ボタン → TRACK/INPUT ボタン → INPUT LEVEL ボリューム レベルメーターガイド表示を目安に録音レベルを調節してください。
	入力レベルを自動で調節する	レベルコントロール機能	ホーム画面 → INPUT → 入力設定 → レベル制御 録音レベルの変更はせず、大きい音だけ圧縮してレベルオーバーを防ぐ機能です。
	異なる入力レベルで同時に2系統の録音をする	デュアル録音機能	ホーム画面 → MENU → 録音設定 → デュアル デュアル録音機能の設定を行います。
MSマイクを使う		ホーム画面 → MENU → 録音設定 → MSマイク MSマイクを使う場合に、MSマイクの設定を行います。	
録音補助	録音中に目印(マーク)を付ける	マーク機能	録音画面 → ENTER/MARK 再生時の目印となるマークをファイルに付ける機能です。
	録音中に手動でファイルを切り換える	マニュアルトラックインクリメント	録音画面 → ▶▶ 曲の変わり目など、違うファイルに切り換えて録音継続したい場合に操作してください。
	自動ファイル切り換えの設定をする	オートトラックインクリメント	ホーム画面 → MENU → 自動機能 → 自動分割 設定したサイズごとに自動的に異なるファイルに切り換える機能です。
	録音開始の少し前から録音する	プリレック機能	ホーム画面 → MENU → 録音設定 → プリレック 録音待機状態から録音状態に移るのが遅れた場合に遅れを補完する機能です。
ファイル操作 (4CHモードのみ)	ファイルの情報を確認する		ホーム画面 → MENU → ファイルブラウザ → ホイール → QUICK → インフォメーション 録音された日付やファイルサイズなどを確認することができます。
	ファイルを削除する		ホーム画面 → MENU → ファイルブラウザ → ホイール → QUICK → ファイル消去 不要なファイルを削除できます。
	ファイルを削除する		ホーム画面 → QUICK → 消去 不要なファイルを削除できます。
	フォルダー内のファイルを一括で削除する		ホーム画面 → MENU → ファイルブラウザ → ホイール → QUICK → 全ファイル消去 フォルダー内にある全てのファイルを一括で削除できます。
	ファイルを分割する	デバイド機能	ホーム画面 → QUICK → ファイル分割 1つのファイルを2つのファイルに分割する機能です。
本体設定	日時を設定する		ホーム画面 → MENU → システム設定 → 日時設定 ファイルに書き込まれる録音日付などに使われる内蔵時計を設定します。
	本体やカードの情報を確認する		ホーム画面 → MENU → システム設定 → インフォメーション 本体ファームウェアのバージョンや、カードの残り容量などを確認できます。
	電源のオートパワーセーブ機能の設定を変更する	オートパワーセーブ機能	ホーム画面 → MENU → 電源/画面設定 → 自動電源制御 無操作時に自動で電源をオフにする機能です。
	バックライトの設定を変更する		ホーム画面 → MENU → 電源/画面設定 → バックライト ディスプレイのバックライトに関する設定をします。
	ディスプレイのコントラスト調節を変更する		ホーム画面 → MENU → 電源/画面設定 → コントラスト ディスプレイの表示の濃淡を設定します。
	電池の種類を設定する		ホーム画面 → MENU → 電源/画面設定 → 電池タイプ 使用している電池の種類を選択します。残量表示の正確性に影響します。
	ファントム電源の電圧値を設定する		ホーム画面 → MENU → 電源/画面設定 → ファントム電圧
	本体を初期設定に戻す	イニシャライズ機能	ホーム画面 → MENU → システム設定 → 設定初期化 全ての設定を工場出荷時に戻します。
	SDカードをフォーマットする	フォーマット機能	ホーム画面 → MENU → システム設定 → カード初期化 カード初期化機能です。
ファイル名の形式を設定する		ホーム画面 → MENU → システム設定 → ファイル名設定 自動で付与されるファイル名の文字を変更できます。	

## メッセージ

以下にポップアップメッセージの一覧表を示します。

DR-44WLでは、状況に応じてポップアップメッセージが表示されますが、それぞれのメッセージの内容を知りたいとき、および対処方法を知りたいときにこの表をご覧ください。

メッセージ	内容と対処方法
電池残量がありません	電池の残量がありません。電池を交換してください。
分割できません	ファイル分割 実行時に分割位置が適切ではありません。(ファイルの先頭、ファイルの最後)
カードエラー	SDカードを正常に認識できません。カードを交換してください。
カード残量がありません	SDカードの残容量がありません。不要なファイルを削除するかパソコンへ移動してください。
MP3非対応の機能です	MP3ファイルの分割はできません。
同名ファイルがあります	ファイル分割 により作成されるファイルと同じファイル名のファイルが同じフォルダー内にすでに存在します。ファイル分割 を行うとファイル名の末尾に「a」または「b」が追加されます。ファイル分割 を行う前にパソコンと接続し、ファイル名を変更してください。
ファイル総数制限に到達	フォルダーとファイルの総数が制限値 (5000個) を超えました。不要なフォルダーやファイルを削除するかパソコンへ移動してください。
ファイル名が不正です	ファイル分割 によりファイル名の文字数が200文字を超えました。ファイル分割 を行うとファイル名の末尾に「a」または「b」が追加されます。ファイル分割 を行う前にパソコンと接続し、198文字以下のファイル名に変更してください。
ファイルが見つかりません	ファイルが見つからないか、ファイルが壊れている可能性があります。対象のファイルを確認してください。
ファイルがありません システムを再構築します	本機を使用するために必要なシステムファイルがありません。このメッセージが表示されている状態でENTER/MARKボタンを押すと、システムファイルが作られます。
ファイルが保護されています	読み取り専用ファイルのため、削除できません。
フォーマットエラー SDを初期化します	SDカードが正常にフォーマットされていないか、SDカードが壊れている可能性があります。このメッセージは、USB接続したパソコンでフォーマットした場合や未フォーマットのカードを挿入した場合にも表示されます。フォーマットは、必ずDR-44WL本体で行ってください。SDカードを交換するか、このメッセージが表示されている状態でENTER/MARKボタンを押すと、フォーマットが実行されます。フォーマットが実行されるとSDカード内のデータは、全て消去されます。
SDカードエラー 交換してください	SDカードが正常でない可能性があります。SDカードを交換してください。
システムファイルエラー システムを再構築します	本機を使用するために必要なシステムファイルが正常ではありません。このメッセージが表示されている状態でENTER/MARKボタンを押すと、新しいシステムファイルが作られます。
間隔が短すぎます	IN点 (始点) とOUT点 (終点) の間隔が短すぎます。1秒以上空けて設定してください。
録音時間の制限に到達	ファイルのサイズが指定のサイズを超えました。あるいはフォルダーとファイルの総数が制限値 (5000個) の時に録音時間が24時間を超えました。
HBRエラー SDを初期化します	SDカードが正常にフォーマットされていないか、SDカードが壊れている可能性があります。SDカードを交換するか、このメッセージが表示されている状態でENTER/MARKボタンを押すと、フォーマットが実行されます。フォーマットが実行されるとSDカード内のデータは、全て消去されます。
カードがありません	SDカードがセットされていません。録音可能なSDカードを挿入してください。
再生できるファイルがありません	再生可能なファイルがありません。ファイルが壊れている可能性があります。

メッセージ	内容と対処方法
動作対象外ファイル	ファイル形式がサポート対象外です。取り扱い可能なファイル形式については、リファレンスマニュアルの「パソコンと接続する」をご覧ください。
書き込み速度不足です	SDカードへの書き込みが間に合いませんでした。ファイルをパソコンへバックアップの上、フォーマットを実行してください。

その他のエラーが出た場合は、本体の電源を入れ直してください。

## トラブルシューティング

本機の動作がおかしいときは、修理を依頼する前にもう一度、下記の点検を行ってください。それでも改善しないときは、お買い上げ店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご連絡ください。

### 電源が入らない。

- 電池が消耗していませんか？
- 電池の⊕、⊖を間違っってセットしていませんか？
- 付属の専用ACアダプター（GPE053B）の電源プラグおよびUSBコネクタがしっかりと差し込まれていますか？
- USBバスパワー接続しているときに、USBケーブルがしっかりと差し込まれていますか？
- USBバスパワー接続しているときに、USBハブを使用していませんか？

### 電源が自動的に切れてしまう。

- オートパワーセーブ機能が設定されていませんか？（→リファレンスマニュアルの「各種設定および情報表示」の「電源のオートパワーセーブ機能の設定」）
  - 本機は欧州待機時電力規制（ErP）に対応しているため、ACアダプター・電池使用時にかかわらずオートパワーセーブ機能が動作します。オートパワーセーブ機能を使用したくないときは「OFF」に設定してください（工場出荷時には「30分」に設定されています）。

### 本体で操作できない。

- HOLD / 1/2 スイッチが「HOLD」にセットされていませんか？
- USB接続になっていませんか？

### SDカードを認識しない。

- SDカードがしっかりと挿入されているか確認してください。

### 再生できない。

- WAVファイルの場合は、本機が対応しているサンプリング周波数であるかどうかを確認してください。
- MP3ファイルの場合は、本機が対応しているビットレートであるかどうかを確認してください。

### スピーカーから音が出ない。

- ヘッドホンをつないでいませんか？
- スピーカー 項目が「切」になっていませんか？
- モニターシステムは、きちんと接続されていますか？
- モニターシステムの音量が最小になっていませんか？
- 本機の出カレベル設定が最小になっていませんか？

### 音が出ない。

- モニターシステムは、きちんと接続されていますか？
- モニターシステムの音量が最小になっていませんか？
- 本機の出カレベル設定が最小になっていませんか？

### 録音できない。

- 接続をもう一度確認してください。
- 入力設定をもう一度確認してください。
- 入力レベルが低くなっていませんか？
- SDカード容量がいっぱいになっていませんか？
- ファイル数が最大数に達していませんか？

### 入力レベルが低い。

- 入力レベル設定が低くなっていませんか？
- 接続した外部機器の出カレベルが低くなっていませんか？

### 録音しようとする音が歪んで聴こえる。

- 入力レベルの設定が大きすぎませんか？
- リバースがかかっていますか？

### 再生音が不自然に聴こえる。

- 再生のスピードを変えていませんか？
- レベルアライン機能が有効になっていませんか？
- リバースがかかっていますか？

### ファイルが消去できない。

- パソコンで読み取り専用で設定したファイルをコピーしたものを消去しようとしていませんか？

### パソコン上に本機のファイルが表示されない。

- 本機がUSB端子経由でパソコンに接続されていますか？
- USBハブを使っていませんか？
- 本機が録音中、または録音待機中になっていませんか？

### 接続ができない、あるいは、通信が途切れる。

- Wi-Fi機器の電源が入っているか、Wi-Fiがオンになっているか確認してください。
- Wi-Fi機器との距離が離れすぎていませんか？  
あるいは、間に壁や障害物などでさえぎられていませんか？  
Wi-Fi機器が本体の後面側にある場合、本機自身でさえぎっていることも考えられます。  
Wi-Fi機器や本機の位置を変えてください。
- 本機の電源を切り、再度本機の電源をオンにしてください。
- Wi-Fi機器の「DR-44WL」の登録を解除し「Wi-Fi機器との接続を行う」の操作を行ってください。

## 仕様

### 定格

#### 記録メディア

SDカード (64MB ~ 2GB)、SDHCカード (4GB ~ 32GB)、SDXCカード (48GB ~ 128GB)

#### 録音再生フォーマット

BWF : 44.1k/48k/96kHz、16/24ビット  
WAV : 44.1k/48k/96kHz、16/24ビット  
MP3 : 44.1k/48kHz、32k/64k/96k/128k/192k/256k/320kbps

#### チャンネル数

- 4チャンネル
- 4CHモード モノ : 最大4ファイル  
ステレオ : 最大2ファイル  
ステレオ (1ファイル) +モノ (最大2ファイル)
  - MTRモード モノ : 最大4ファイル

### 入出力

#### EXT MIC/LINE IN端子 (ファントム電源対応)

コネクタ: XLR-3-31、φ6.3mm (1/4") TRS標準ジャック

#### Ω / LINE OUT端子

コネクタ: φ3.5mm (1/8") ステレオミニジャック

#### 内蔵スピーカー

0.3W (モノラル)

#### USB端子

コネクタ: Micro-Bタイプ  
フォーマット: USB2.0 HIGH SPEED マスストレージクラス

### オーディオ性能

#### 周波数特性

20-20kHz +1/-3dB (EXT IN to LINE OUT, Fs44.1kHz, JEITA)  
20-22kHz +1/-3dB (EXT IN to LINE OUT, Fs48kHz, JEITA)  
20-40kHz +1/-3dB (EXT IN to LINE OUT, Fs96kHz, JEITA)

#### 歪率

0.05%以下 (EXT IN to LINE OUT, Fs44.1k/48k/96 kHz, JEITA)

#### S/N比

92dB以上 (EXT IN to LINE OUT, Fs44.1k/48k/96 kHz, JEITA)

注) JEITA: JEITA CP-2150準拠

### 録音時間

ファイルフォーマット (録音時の設定)		SDHCカード容量
		4GB
WAV / BWF 16ビット (STEREO)	44.1kHz	6時間17分
WAV / BWF 24ビット (STEREO)	96kHz	1時間55分

- 上記録音時間は理論値であり、ご使用のSD / SDHC / SDXCカードにより異なる場合があります。
- 上記録音時間は連続録音時間ではなく、SD / SDHC / SDXCカードに可能な録音合計時間です。
- WAV形式のMONO録音の場合は、上記録音時間の約2倍の時間となります。
- WAV / BWF形式のデュアル録音 / 4チャンネル録音の場合は、上記録音時間の約半分の時間となります。

### Wi-Fi

#### 無線規格

IEEE 802.11b/g/n準拠 (2.4GHzのみ)

#### 無線通信モード

- 直接接続モード  
簡易アクセスポイント (Limited AP)
- ルーター経由モード  
インフラストラクチャー (Station)

#### セキュリティ

WPA2-PSK (WPS2.0対応)

### 一般

#### 電源

単3形電池4本 (アルカリ乾電池またはニッケル水素電池)  
パソコンからのUSBバスパワー  
専用ACアダプター (GPE053B、付属)

#### 消費電力

2.5W (最大時)

#### 電池持続時間 (連続使用時)

##### ● アルカリ乾電池 (EVOLTA) 使用時

フォーマット	持続時間	備考
2ch WAV、44.1kHz、16bitで録音	約16時間	MIC入力選択 (ファントム未使用) 時

##### ● ニッケル水素電池 (eneloop) 使用時

フォーマット	持続時間	備考
2ch WAV、44.1kHz、16bitで録音	約12時間	MIC入力選択 (ファントム未使用) 時

### メモ

- ファントム電源を使用時には、ご使用になるマイクにより持続時間が短くなる場合があります。
- 電池持続時間 (連続動作時) は、お使いの記録メディアにより記載された値から変動することがあります。

### 外形寸法

79 x 162.2 x 42.5mm (幅 x 高さ x 奥行き)

### 質量

346g / 251g (電池を含む / 電池を含まず)

### 動作温度

0 ~ 40℃

- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。
- 製品の改善により、仕様および外観が予告なく変更することがあります。
- 詳細仕様は、リファレンスマニュアルに掲載しています。

# ティアック株式会社 〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポート 〒206-8530 東京都多摩市落合1-47



**0570-000-809**

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間は、10:00～12:00 / 13:00～17:00です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

●ナビダイヤルがご利用いただけない場合

電話：042-356-9137 / FAX：042-356-9185

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センター 〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858



**0570-000-501**

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間は、9:30～17:00です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

●ナビダイヤルがご利用いただけない場合

電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036

■住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

## リファレンスマニュアルに関して

取扱説明書(本書)では、本機の各機能について解説しています。各機能の詳細については、リファレンスマニュアルをご覧ください。

リファレンスマニュアルは、TASCAMのウェブサイト(<https://tascam.jp/jp/>)からダウンロードすることができます。



## 無料修理規定（持ち込み修理）

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、ティアック修理センターが無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、ティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前にティアック修理センターにお問い合わせください。無償修理の対象は、お客さまが日本国内において購入された日本国内向け当社製品に限定されます。
3. ご転居、ご贈答品などでお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、ティアック修理センターにご連絡ください。
4. 次の場合には、保証期間内でも有償修理となります。
  - (1) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
  - (2) お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
  - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
  - (4) 接続しているほかの機器に起因する故障および損傷
  - (5) 業務上の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷

- (6) メンテナンス
- (7) 本書の提示がない場合
- (8) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名（印）の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合

5. 本書は日本国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- \* この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、ティアック修理センターにお問い合わせください。
- \* 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間についての詳細は、取扱説明書をご覧ください。

# 保証書

品名 および 形名	DR-44WL		
機番			
保証期間	本体	1年	

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から上記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、取扱説明書に記載のティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

お買い上げ日	年	月	日
お客様	お名前		
	ご住所		

販売店	見本	
	電話	( )

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただきます場合がございますので、ご了承ください。

## ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

## ティアック修理センター

〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858

電話：0570-000-501/04-2901-1033